

成人の骨系統疾患患者の QOL に関する研究

名古屋大学医学部附属病院整形外科では、骨系統疾患の診療・研究を行っております。このたび、「成人の骨系統疾患患者の QOL に関する研究」という調査研究を施行することになりました。目的は骨系統疾患の自然経過および成長ホルモンや骨延長などの治療の長期成績を評価して、今後の治療に生かしていくことです。

調査対象となるのは名古屋大学整形外科、大阪大学小児科、東京大学リハビリテーション科などに通院歴のある骨系統疾患患者さん（軟骨無形成症、骨形成不全症、脊椎骨端異形成症、多発性骨端異形成症など）または各種疾患の患者会会員で 10 歳以上の患者さんです。身長、体重、成長ホルモン投与期間、骨延長治療期間と延長量などをアンケートにより調査します。また、カルテがある場合は、下肢アライメント、関節可動域、成長ホルモン治療歴、手術歴などを調査します。データ上、すべての患者さんは匿名化されて管理され、これらの情報が外部に漏れることはありませんし、何らかの負担が生じることもありません。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることになります。

本研究の調査対象の患者さんで調査に同意されない方はお申し出ください。

この件に関しまして、ご質問などがございましたら、担当医に遠慮なくお尋ねください。

名古屋大学医学部附属病院整形外科長 今釜史郎
研究責任者 三島健一
研究事務局 松下雅樹
電話：052-744-1908